

## 選択的評価基準 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況

## (1) 観点ごとの分析

観点1-①： 高等専門学校の教育サービスの目的に照らして、公開講座等の正規課程の学生以外に対する教育サービスが計画的に実施されているか。

(観点に係る状況)

## (i) 公開講座

本校では、正規課程の学生以外に対する教育サービスとして、毎年複数の公開講座を開設し、広く一般から受講者を募集している(資料サ1-①-1)。

資料サ1-①-1：最近3年間の公開講座実施状況

## ■平成15年度

講座名	対象	定員
谷崎潤一郎を読む	市民一般	15
ウェブサイト作成入門	市民一般	10
PerlによるCGI入門	市民一般	10
50代からのパソコン入門	市民一般	5
小中学校教職員のためのパソコン入門	小中学校教職員	10
中学生のための最新技術を利用したものづくり	中学生	10
“竹炭の不思議”を体験しよう	中学生	10

## ■平成16年度

講座名	対象	定員
中学生のための最新技術を利用したものづくり	中学生	10
ウェブサイト作成入門第1部	市民一般	15
ウェブサイト作成入門第2部	市民一般	15
モーター製作教室	小学校高学年～中学1年生	15
50代からのパソコン入門	市民一般	10

## ■平成17年度

講座名	対象	定員
中学生のための最新技術を利用したものづくり	中学生	10
モーター製作教室	小学校高学年～中学2年生	15
磁気振り子の製作講座	小学校高学年～中学2年生	15
未来の技術者へのコンピュータ活用塾	中学生とその保護者	15
ブロックで創るロボットの世界	小学生とその保護者	80
初心者のためのデジカメ画像活用入門	市民一般	15
中学生のための自律ロボット教室	中学生	80
中学生のための化学実験講座	中学生	30
門池環境調査隊!	中学生	10
親子で作るパソコン教室	中学生とその保護者	80

(出典：平成15～17年度沼津工業高等専門学校公開講座実施要項)

最近3年間の公開講座を対象別に見ると、小中学生向け13件、高校生以上の一般向け9件となっており、若年層へのサービスと生涯学習社会における一般の教育ニーズの双方に配慮している（資料サ1—①—2）。

資料サ1—①—2 最近3年間の対象者別公開講座実施状況

	中学生以下	市民一般
平成15年度	2	5
平成16年度	2	3
平成17年度	9	1

（出典：平成15～17年度沼津工業高等専門学校公開講座実施要項）

また、最近3年間の公開講座を内容別に見ると、機械系、情報系、化学系など多岐にわたるサービスを提供しており、できるだけ多様なニーズに応えられるよう計画している（資料サ1—①—3）。

資料サ1—①—3 最近3年間の内容別公開講座実施状況

	情報	機械・電子	材料・化学	その他
平成15年度	4	1	1	1
平成16年度	3	2	0	0
平成17年度	3	5	2	0

（出典：平成15～17年度沼津工業高等専門学校公開講座実施要項）

平成17年度からは、理工系離れの進む小中学生が科学に対する興味を抱くきっかけとするため、小中学生向け講座の受講料は全て無料とし、小中学生が本校独自の研究技術に気軽に触れられる機会を提供している（資料サ1—①—4）。

資料サ1—①—4：平成17年度公開講座案内

# Invitation to Technology 2005

モノづくりから世界が見える。

## 沼津高専 公開講座 受講生募集

以下の講座は詳細が未定です。まだ公募は行っておりません。

**中学生のための**  
最新技術を利用した  
**7/26▶29**  
Thu. Fri. Sat. Sun.  
**ものづくり**  
講師/大賀 喬一 他1名  
対象/中学生  
受講料/無料(保険料100円)

**モーター製作講座**  
8/1 Mon.  
講師/望月 孔二 他1名  
対象/小学校高学年~中学2年生  
受講料/無料

**かど いけ 門池環境調査隊!**  
日時/8月中旬から計5回実施  
講師/蓮実 文彦 他6名  
対象/中学生  
受講料/無料

**未来の技術者への**  
**コンピュータ活用塾**  
8/6▶7 Sat. Sun.  
講師/長谷 賢治  
対象/中学生とその保護者  
受講料/無料

**中学生のための**  
**自律ロボット教室**  
日時/未定  
講師/川上 誠  
対象/中学生  
受講料/無料(教材費として1,000円)


**磁気振りの子の製作講座**  
8/1 Mon.  
講師/高野 明夫 他1名  
対象/小学校高学年~中学2年生  
受講料/無料

**初心者のための**  
**デジカメ画像活用入門**  
7/27▶29 Wed. Thu. Fri.  
講師/加藤 賢一 他1名  
対象/市民一般  
受講料/6,400円

**親子で作るパソコン教室**  
日時/未定  
講師/川上 誠  
対象/中学生とその保護者  
受講料/5,400円

**ブロックで割るロボットの世界**  
10/22・11/26 Sat. Sat.  
12/17・1/28 Sat. Sat.  
講師/川上 誠 他2名  
対象/小学生とその保護者  
1/28は中学生対象  
受講料/無料

**中学生のための**  
**化学実験講座**  
11/20 Sun.  
講師/小林 美学 薬科 知之  
対象/中学生  
受講料/無料



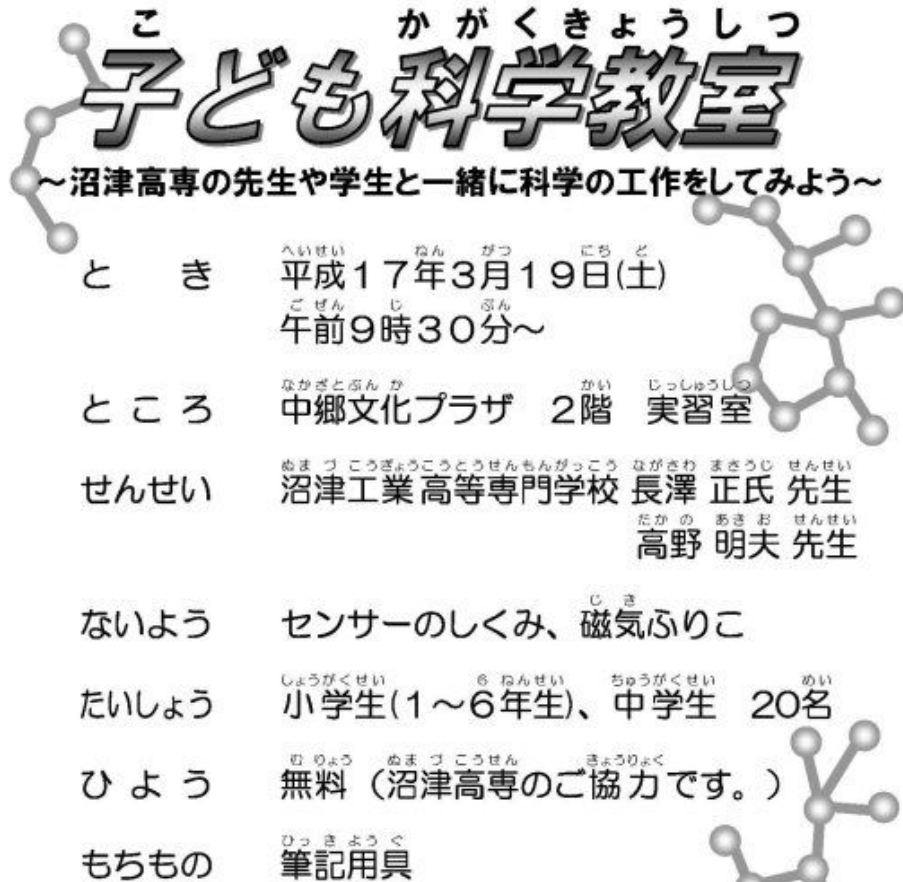
**Numazu College of Technology**  
国立沼津工業高等専門学校  
〒410-8501 沼津市大岡3600 TEL:055-926-5712

申込方法など詳しくは、裏面をご覧ください。

(出典：平成15～17年度沼津工業高等専門学校公開講座実施要項)

さらに、本校内で行う公開講座に留まらず、校外で行われる科学関連イベントへの出展や、小学校のPTA祭や公民館などで行われる出張科学教室などにも教職員を派遣している（資料サ1—①—5及び6）。

資料サ1—①—5：公民館における科学教室開催案内



**こ かがくきょうしつ**  
**子ども科学教室**  
 ～沼津高専の先生や学生と一緒に科学の工作をしてみよう～

と き 平成17年3月19日(土)  
 午前9時30分～

ところ 中郷文化プラザ 2階 実習室

せんせい 沼津工業高等専門学校 長澤 正氏 先生  
 高野 明夫 先生

ないよう センサーのしくみ、磁気ふりこ

たいしょう 小学生(1～6年生)、中学生 20名

ひょう 無料(沼津高専のご協力です。)

もちもの 筆記用具

※3月12日(土)までにお申込みください。申込多数の場合は抽選になります。

申込・問合せ 中郷公民館(982-5100)

キ リ ト リ

し めい 氏 名		がっこう めい 学校名	
でんわばんごう 電話番号	( )	がく ねん 学 年	ねん 年
じゅう しょ 住 所	みしまし 三島市		

(出典：三島市中郷公民館イベント案内ポスター)

資料サ 1—①—6 : 校長から教職員に対する学外教育サービスへの協力依頼

From: kawaguti@numazu-ct.ac.jp (沼津高専企画調査)

Date: Mon, 11 Apr 2005 14:23:19 +0900

To: 6syunin

Cc: shomu, nagasawa

Subject: 三島市主催「三島市子ども科学教室」への協力方について (依頼)

平成17年4月11日

各学科等長 殿

校 長

三島市主催「三島市子ども科学教室」への協力方について (依頼)

このたび、三島市から標記事業計画への協力方について、下記のとおり依頼がありました。  
この事業は、本年3月19日に本校教員の協力のもと実施された同種の事業が好評であったことを受けて企画され、再度本校に依頼があったものです。

既にご案内のとおり、本校は、静岡県東部地区唯一の国立高等教育機関としての社会的使命と役割をもっており、その社会的使命の一つに「地域への貢献」があります。また、ものづくりに関心と適性を有する者など国立高専の教育にふさわしい入学者を的確に確保することも重要です。

については、各学科等におかれましては、積極的にご協力くださるようお願いいたします。  
なお、ご協力いただける学科等におきましては、4月22日(金)までに庶務課専門職員(企画調査担当)川口までご連絡願います。

記

- 1 日 時 平成17年8月3日(水)  
(本校一日体験入学の翌日であり、テーマの流用等が可能です)
- 2 場 所 三島市中郷文化プラザ
- 3 対 象 小中学生
- 4 定 員 未定
- 5 形 式 高専の提案どおり

(出典：学内通知メール)

## (ii) 研究生等

本校では、本校における継続的な研究・学習へのニーズに幅広く対応するため、学則により、正規課程以外にも研究生，聴講生，科目等履修生の制度を設けている（資料サ1—①—7）。

## 資料サ1—①—7：本校学則における研究生，聴講生，科目等履修生の規定部分

## 第11章 研究生，聴講生，科目等履修生

第56条 本校において、特定の事項につき研究を志望する者があるときは、研究生として入学を許可することがある。

第57条 本校所定の授業科目中、1科目又は数科目を聴講しようとする者があるときは、聴講生として入学を許可することがある。

第58条 本校所定の授業科目中、1科目又は複数の授業科目を履修しようとする者があるときは、科目等履修生として入学を許可し単位の修得を認定することがある。

（出典：本校学則）

[http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/0010\\_gakusoku.htm](http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/0010_gakusoku.htm)

各制度は、資料サ1—①—8に示すような特色を持ち、様々なニーズに対応できるようになっている。

## 資料サ1—①—8：研究生，聴講生，科目等履修生制度の概要

**【研究生】** 特定の専門事項について、研究をしたいと希望する場合、教育・研究に支障のない範囲で、研究生として入学を許可する。

資格は、高専卒業又は同等以上の学力のある者で、面接等による選考がある。

入学は、学年又は学期始めとし、研究期間は、原則として当該年度内とする。

また、検定料，入学科，授業料を徴収する。

**【聴講生】** 本校で開講されている授業科目のうち、特定の科目を聴講したいと希望する場合、教育・研究に支障のない範囲で、聴講生として入学を許可する。

資格は、高専卒業又は同等以上の学力のある者で、面接等による選考がある。

専攻科の聴講生は、高専卒業又は同等以上の学力が必要となる。

入学は、学年又は学期始めとし、聴講期間は、原則として当該年度内とする。聴講科目は、実験，実習以外の科目に限る。

また、検定料，入学科，授業料を徴収する。

**【科目等履修生】** 本校で開講されている授業科目のうち、1科目又は複数の科目の履修を希望する場合は、教育・研究に支障のない範囲で、科目等履修生として入学を許可する。

履修した科目については、単位の修得を認定する。

資格は、高専卒業又は同等以上の学力のある者で、面接等による選考がある。

専攻科の科目等履修生は、高専卒業又は同等以上の学力が必要となる。

入学は、学年又は学期始めとし、履修期間は、原則として当該年度内とする。履修できる科目は、実験，実習以外の科目に限る。

また、検定料，入学科，授業料を徴収する。

（出典：本校規則集）



(分析結果とその根拠理由) 相応である。本校が持つ教育力を、本校の学生に留まらず広く地域に提供しようとする姿勢を堅持しており、受講対象や講義内容などが偏らないよう計画的に公開講座を実施するとともに、研究生・聴講生・科目等履修生の制度を設け、学外からの教育ニーズに対応できる体制を整えている。

**観点 1-②： サービス享受者数やその満足度等から判断して、活動の成果が上がっているか。また、改善のためのシステムがあり、機能しているか。**

(観点に係る状況)

(i) 公開講座

公開講座の受講者数は毎年40～70人を数え、さらに平成17年度においても複数の講座で募集定員を大幅に超える応募があるなど、サービスの享受者数から本校の公開講座は相応な需要を得ているものと判断できる(資料サ1-②-1及び2)。

資料サ1-②-1：平成14～16年度公開講座受講者数

	総講座数	総受講者数
平成14年度	8	70
平成15年度	8	68
平成16年度	5	44

(出典：平成14～16年度公開講座関係資料ファイル)

資料サ1-②-2：平成17年度各公開講座受講希望者数(締切済みのもの)

講座名	申込人数	定員
中学生のための最新技術を利用したものづくり	23	10
モーター製作教室	59	15
磁気振子子の製作講座	51	15
未来の技術者へのコンピュータ活用塾	9	15
初心者のためのデジカメ画像活用入門	6	15

(出典：平成17年度公開講座受講申込一覧表)

また、本校内で行った公開講座についてはすべてアンケート調査を行い、平成16年度については多くの受講者から「参加してよかった」「また参加したい」という回答を得ている(資料サ1-②-3)。

資料サ1-②-3：平成16年度公開講座受講者アンケートの例

平成16年度 公開講座「モータ製作教室」に関するアンケート集計結果(受講者20名中20名回答)

設問 1. 性別をお答えください。

ア. 男 . . . . . 17 名  
 イ. 女 . . . . . 3 名

設問 2. あなたはこの講座を何でしましたか。

ア. 広報紙 . . . . . 8 名  
 イ. 新聞 . . . . . 3 名  
 ウ. その他 . . . . . 9 名

・友達に誘われた

- ・ウェブサイト
- ・中学校の手紙
- ・母が教えてくれた
- ・小学校からのたより
- ・せつめい
- ・うち 回答なし 3 名

**設問 3. この講座を、来年度実施予定した場合についてお答えください。**

- (1) 実施時期についてはいかがですか。
- ア. この時期で適当だと思う。・・・・・・ 19 名
- イ. 他の時期が良いと思う。・・・・・・ 1 名
- (2) (1) の設問で「他の時期が良いと思う」と回答された方はいつ頃が良いと思いますか。お書きください。
- 9 月頃
- (3) 時間帯についてはいかがですか。
- ア. この時間帯で適当だと思う。・・・・・・ 19 名
- イ. 他の時間帯が良いと思う。・・・・・・ 1 名
- (4) (3) の設問で「他の時間帯が良いと思う」と回答された方は、いつが良いと思いますか。お書きください。
- 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
- (5) 開設期間についてはいかがですか。
- ア. この期間で適当だと思う。・・・・・・ 19 名
- イ. 短すぎると思う。・・・・・・なし
- ウ. 長すぎると思う。・・・・・・ 1 名
- (6) (5) の設問で「イ. 短すぎると思う。」及び「ウ. 長すぎると思う」と回答された方は何日間が良いと思いますか。お書きください。
- 2 日間

**設問 4. 今回の講座の感想をお書きください。**

- ・たのしかった。
- ・いろいろなモータの体験ができてよかったです。モータのブレーキの力がわかってよかったです。
- ・うまく回ったり回らなかったりした。
- ・モータを作ることができてよかった。学校の中（研究室）の見学ができてよかった。学食がおいしかった。午前中の講義は子供たちには少しむずかしかったと思う。
- ・モータのことがよくわかってよかった。
- ・モータのことがたくさんしれてよかったと思います。
- ・けっこう楽しかった。
- ・電気（モータ）のことがよくわかった。
- ・いろいろなモータがあることが分かったし、それぞれのモータのしくみがわかってよかった。おもしろかった。
- ・いろいろなことが見て感じて学べる良い講座だったと思います。



- ・モータのいろいろなことがわかってよかった。
- ・楽しい。いろんなところを見学したり、おもしろい。
- ・せんをまくのがたいへんだったけどおもしろかった。
- ・(子)楽しかった。  
(母)組み立てるだけでなく、色々自分の考え、工夫 又他の人の結果を共有出来るといった点で、工作というより実験をしたという気分でした。
- ・モータについてよくわかったし、勉強になった。
- ・モータについて知ることができました。先日リニアにも乗ったので興味深く、大変良かったと思います。
- ・磁石のことが分かりました。S 極・N極どうして、くっついたり、はんぱつしあったりする、磁石をつくれることが分かった。
- ・むずかしかったけど楽しかった。
- ・楽しかった。

設問 5. 今後、他の講座を受講する場合、どのような講座を受講してみたいと思いますか。

お書きください。

- ・ソーラーカー
- ・電気製品の講座
- ・見学したところ
- ・時計作り、ラジオ作り、ソーラーカーのキットをくみだててみたい。
- ・モーターと同じでいいと思う。
- ・また何か作るもののほうがいいと思う。
- ・飛行するもの
- ・電池の作成講座
- ・モーターなどの電気関係が好きなので電気関係にしたいです。
- ・電気教室
- ・ラジコン
- ・水の動き 流れ方など知りたい。
- ・ロボット製作
- ・ロボットをつくる。
- ・レゴの講座

設問 6. その他、ご意見等ございましたらお書きください。

- ・とても楽しく勉強できてよかったです。
- ・ありがとうございました。夏休みの一日を有意義に過ごせました。
- ・同じキットを使って、富士の児童館で無料(協力 東電)の工作教室が夏休みのこの時期に開催されます。少しキットが違くと良かった。でもこちらに参加させていただいて、自由に工夫しているいろいろ試す事が出来て実りの多い時間となりました。ありがとうございました。
- ・説明がとてもわかりやすかったです。本当にありがとうございました。
- ・修了証書があつてうれしかった。ありがとうございました。
- ・昼休みを長くしてほしい。

- ・ありがとうございました。

親子で参加させていただきました。夏休み中の良い思い出の機会を作って頂き感謝申し上げます。望月先生のお話はとても分かりやすく、ゆっくりと説明をして下さったので良かったです。また見学の方もリニアモーター等について見せて下さり大変興味深いものでした。資料の提示（パワーポイント？）もとても理解しやすかったです。ご準備の方も大変だったことと存じます。ありがとうございました。

- ・とてもよかったですと思います。ありがとうございました。
- ・ご飯で、もうちょっと時間があったほうがいい。

（出典：平成16年度公開講座受講者アンケート調査）

アンケート結果は、すべて講座担当者にフィードバックし、改善のための資料としている。

また、学校名で行う公開講座の実施の可否については毎年総務委員会において審議してきたところであるが、平成17年度は、これまで各学科等が独自に行っていた公開講座もすべて総務委員会において実施案を審議して可否を決定する方式に改め、広報や予算配分などを一括して行うことにするなど、効率的に公開講座が実施できる方策を講じたところである。さらに、平成17年度中に公開講座等についてより専門的に審議する担当委員会の設置を計画している（資料サ1—①—4）。

資料サ1—②—4：公開講座に関する総務委員会議事要録（部分）

## 第1回総務委員会議事要録

平成17年4月13日（水）

司会：校長

※ 議事に先立ち、校長から新構成員の紹介等があった。

1 前回議事要録の確認 記録のとおり確認

2 議題等

◎ 議題

(1) 「沼津工業高等専門学校学則」の一部改正について

学生課長から、資料1に基づき説明があり、承認された。

(2) 「沼津工業高等専門学校就職委員会規程」の一部改正について

学生課長から、資料2に基づき説明があり、承認された。

(3) 沼津工業高等専門学校名誉教授の選考について

庶務課長から、資料3に基づき説明があった後、山岸教養科長から、推薦理由の説明があり、審議の結果、承認された。

(4) 平成17年度公開講座実施計画について

庶務課長から、資料4に基づき説明があり、種々検討の結果、事務部において申請講座の一部について、担当学科と教材費の徴収等を調整することとした。

なお、実施経費等については、今後、外部資金取得等の状況を勘案し、検討することとした。

また、来年度からは、事前に何らかの委員会等で検討するのが良いのではないかとの意見が出された。|

（出典：平成17年度第1回総務委員会議事要録）

## (ii) 研究生等

最近3年間の研究生等の受入実績は、資料サ1—②—5に示すとおりである。

資料サ1—②—5：平成15～17年度研究生等受入実績

	研究生	聴講生	科目等履修生
平成15年度	3	0	0
平成16年度	3	0	0
平成17年度	2	1	0

(出典：学生課保存ファイル「学籍異動 研究生・聴講生・科目等履修生 平成15年度～」)

科目等履修生については近年の受入実績はないが、研究生は毎年複数名の受入実績があり、聴講生も平成17年度に受入実績がある。

満足度等の組織的な調査は行っていないが、受け入れた研究生等には必ず指導担当教員を配置し、当該研究生等のニーズに可能な限り応じており、特段の不満等は報告されていない。研究生等本人または担当指導教員から制度を改善する必要があるとの問題提起がなされた場合は、教務委員会において審議され、対応策を決定する。

(分析結果とその根拠理由) 相応である。

公開講座に関しては、受講者数は正規課程の学生のほぼ2クラス分となっており、また、アンケート調査では受講者の多くが満足の意を表しているため、活動の成果は上がっているものと判断できる。また、毎年総務委員会において公開講座の効果的な実施方法について審議しており、平成17年度においても改善の実績がある。

研究生等に関しては、毎年複数の受入実績があり、制度は活用されているといえる。また、全ての研究生等に担当指導教員を配置し、研究・学習活動へのフォローや要望への対応を行っており、制度の改善等の必要があれば速やかに教務委員会において審議する体制を整えている。

## (2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点) 公開講座の対象年齢や分野を幅広く設定している点は優れている。

(改善を要する点) 特になし。

## (3) 選択的評価基準の自己評価の概要

本校では、正規課程の学生以外に対する教育サービスとして、毎年複数の公開講座を開設し、広く一般から受講者を募集している。公開講座の対象年齢及び内容の設定については、できるだけ多様なニーズに応えられるよう計画している。平成17年度からは、小中学生向け講座の受講料は全て無料とし、「理工系離れ」が進むと言われる小中学生が本校独自の研究技術に気軽に触れられる機会を提供している。さらに、校外で行われる科学関連イベントへの出展や、小学校のPTA祭や公民館などで行われる出張科学教室などにも教職員を派遣している。

また、本校では、本校における継続的な研究・学習へのニーズに幅広く対応するため、学則により、正規課程以外にも研究生、聴講生、科目等履修生の制度を設けている。各制度は、それぞれ特色を持ち、様々なニーズに対応できるようになっている。

こうして、本校では、本校が持つ教育力を、正規課程の学生に留まらず広く地域に提供しようとする姿勢を堅持しており、受講対象や講義内容などが偏らないよう計画的に公開講座を実施すると

ともに、研究生・聴講生・科目等履修生の制度を設け、学外からの教育ニーズに対応できる体制を整えている。

公開講座の受講者数は、毎年正規課程の学生のほぼ1～2クラス分となっており、さらに平成17年度においても複数の講座で募集定員を大幅に超える応募があるなど、サービスの享受者数から本校の公開講座は相応な需要を得ているものと判断できる。また、本校内で行った公開講座についてはすべてアンケート調査を行い、多くの受講者から「参加してよかった」「また参加したい」という回答を得ている。アンケート結果については、すべて講座担当者にフィードバックし、改善のための資料としている。公開講座の実施の可否については毎年総務委員会において審議してきたところであり、さらに平成17年度中に公開講座等についてより専門的に審議する担当委員会の設置を計画している。

研究生等に関しては、毎年複数の受入実績があり、制度は活用されている。また、全ての研究生等に担当指導教員を配置し、研究・学習活動へのフォローや要望への対応を行っており、制度の改善等の必要があれば速やかに教務委員会において審議する体制を整えている。

#### (4) 目的の達成状況の判断

目的の達成状況がおおむね良好である。